



平成20年5月12日

各 位

日本出版貿易株式会社
代表取締役社長 関口 晴生
(JASDAQ・コード8072)
問合せ先
取締役事業管理部本部長 天 内 健 一
電話番号 03-3292-3751

平成20年3月期通期（連結・単独）業績予想との差異及び
配当額の決定に関するお知らせ

最近の業績の動向等をふまえ、平成19年11月15日の中間決算発表時に公表した業績予想と
期末配当金について下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期個別通期業績予想数値の差異（平成19年4月1日～平成20年3月31日）
（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	9,255	105	60	35
今回修正予想（B）	8,804	132	53	34
増減額（B-A）	△451	27	△7	△1
増減率	△4.9%	25.7%	△11.7%	△2.9%
前期（平成19年3月期）実績	9,586	△54	△80	△75

2. 平成20年3月期連結通期業績予想数値の差異（平成19年4月1日～平成20年3月31日）
（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	9,541	123	80	47
今回修正予想（B）	9,114	165	82	70
増減額（B-A）	△427	42	2	23
増減率	△4.5%	34.1%	2.5%	48.9%
前期（平成19年3月期）実績	9,862	△23	△49	△49

3. 理由

個別における売上高につきましては、出版物が順調であった一方、音楽配信・ネット販売・洋楽離れ・小売店離れが進んだ輸入音楽ソフトの売上減により、予想値を下回る 88 億 4 百万円となる予定です。利益面におきましては、営業費が前期比 2 億 5 百万円減と大幅に削減することができました。また、急激な円高による為替差損 2 千 9 百万円と株式市場の低迷による有価証券運用損 2 千 1 百万円を計上したものの、経常利益は前期比 1 億 3 千 3 百万円増の 5 千 3 百万円となる予定です。当期純利益におきましては貸倒引当金戻入益を計上する一方、在庫商品の評価見直しによる特別損失を計上し、3 千 4 百万円となる予定です。

連結においては、大部分を占める個別の業績に加え、日本語学習書の売上げがアメリカ、イギリス、フランスともに好調であり、利益面におきましては予想を上回りました。その結果、連結の当期純利益は 7 千万円となる予定です。

4. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 19 年 11 月 15 日公表)	(ご参考)前期実績 (平成 19 年 3 月期)
基準日	平成 20 年 3 月 31 日	同左	平成 19 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	0 円 0 0 銭	5 円 0 0 銭	0 円 0 0 銭
配当金の総額	0 円	—	0 円
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1 株当たり配当金(円)		
	中間期	期末	年間
当期実績		0 円 0 0 銭	0 円 0 0 銭
前期実績 (平成 19 年 3 月期)		0 円 0 0 銭	0 円 0 0 銭

5. 理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要施策と位置づけており、業績、配当性向ならびに企業体質の強化と今後の事業展開に必要な内部留保等を考慮し、積極的に株主に対する利益還元を実施してまいりました。

しかしながら、当社大株主でもある企業の当社保有有価証券が急落したことにより純資産の部にその他有価証券評価差額金を計上いたしました。この差損金は会社法で分配可能額から控除するように定められているため、誠に遺憾ながら期末配当は見送りさせていただくことになりました。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の修正額は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上